

2006 年度

科目名 日本語表現論	対象学科・学年 文学部日文1回生	担当者 増田 正子
授業テーマ 小説における空間性に関わる表現を分析する		
授業の概要と目標 近代小説における空間性という問題意識のもとに、数編のテキストをとりあげ表現分析を行う。 前半は「坂」「橋」「森」「河」といった自然に関わるもの、後半は、「マンションの部屋」「キッチン」「教室」といった人工的な空間を考える。		
評価方法 期末の記述試験、発表、小テストによって評価する。 出席状況も平常点とする。		
テキスト 随時、プリントを配布する。	著者	出版社
参考書 講義時に適宜紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. ガイダンス 森鷗外「雁」を読む① 2. ② 3. 三島由紀夫「橋づくし」を読む① 4. ② 5. 坂口安吾「桜の森の満開の下」を読む① 6. ② 7. 宮本輝「泥の河」を読む① 8. ② 9. 津島佑子「光の傾分」を読む① 10. ② 11. 吉本ばなな「キッチン」を読む① 12. ② 13. 山田詠美「風葬の教室」を読む① 14. ② 15. 記述試験		